

『認知症看護』研修会実施報告

日時 : 平成 29 年 9 月 16 日
対象者 : ラダーⅢ (卒後 5 年目以上)
参加者数 : 40 名 (対象者 38 名、一般参加者 2 名)
目的 : 急性期病院に入院した認知症高齢者の起こりやすいせん妄を理解し、
ベッドサイドでできる取り組みについて考えることができる

<講師の紹介>

認知症看護認定看護師

大和高田市立病院入職後、2013 年兵庫県看護協会認定看護師教育課程認知症コースに入校され、2014 年認知症看護認定看護師資格を取得され、現在は 4A 病棟で認知症看護認定看護師として活躍されています。



<内容>

講義の前半では、せん妄の発生機序から認知症との違いについて詳しく講義をしていただきました。せん妄と認知症の症状はよく似ていますが、発生機序が異なりせん妄は身体管理の問題でもらうということを学びました。



後半のグループワークでは事例を通し、せん妄の要因や対策について活発な意見交換が行われ、どのグループも講義で学んだ内容を活かしながら取り組むことができました。

せん妄は、ケアの中で要因となる因子を取り除き、環境を整えることで早期発見、早期対策につなげられ患者さんが快適に過ごせるように、多職種で取り組み継続していくことが必要であると学びました。今後、それぞれの部署において、看護ケアの向上につなげられる研修となりました。